

正 観

2022年 5月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会 長 遠藤 勝雄 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

今年になり、コロナ禍を縫うように3月に米沢で地区クラブの通常総会と例会、4月に仙台で地区クラブ例会を実施することができました。通常総会ではすべての議案が承認され、例会に参加の皆様は講師の先生方のご指導に熱心に応えておられました。

また、5月3日の第23回通常総会(京都)には東北地区から曾根理事長をはじめ6名の会員(江俣、小淵、古濱、石田、三條、渡邊)が参加され、事業報告では昨年11月の全国例会が仙台市で無事開催されたこと、事業計画としては本年11月5、6日に京都で全国例会が開催されることなどの各種議案が承認されました。

今年度は地区クラブの各種事業を復活させ、会員の皆様に喜んでいただけるよう計画いたしますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。予定していました第3回目例会ですが福島での6月12日開催予定が仙台での7月3日(日)に変更となります。東北学生選手権大会の急遽開催とコロナによる会場探索が困難だった為です。申し訳ございませんが予定の変更をお願い申し上げます。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ

幹事長 三 條 貞 夫

1 山形県米沢市例会の報告

《東北地区クラブ通常総会概要》

3月27日(日)、山形県米沢市三條かの記念館において2022年度の通常総会並びに今年度第1回目の地区例会が開催されました。2021年度の事業報告と決算報告および今年度の事業計画と予算案が説明され満場一致で承認されました。後日本部より事業報告書が送付されますので詳細をご確認ください。

開会にあたり、遠藤会長からコロナ禍の中、昨年東北地区クラブ主管で開催された全国例会の盛会の御礼と沢山の先生方が中央審査で合格されたことに対して祝福の言葉を賜りました。



冒頭、昨年11月の東京審査で七段に昇段された三條祐介先生（山形）に御祝いの記念品が遠藤会長から手渡されました。三條先生からは「（審査直前の）11月の全国例会での試合の経験や、沢山稽古を頂いた事が力となりました。」と今後益々の精進を誓う力強い挨拶がありました。

曾根副会長からは11月初旬に予定されている全国例会について、近畿地区クラブ主管で京都開催予定であるとの報告がありました。

《講習・稽古》

総会に続いて、新型コロナウイルスの予防対策をしっかりと行い21名の参加のもと、新年度第1回目の東北地区クラブ例会を開催いたしました。参加して良かった！と思える充実した例会になるようにと講師陣の先生方のこれまで以上に熱意のこもったご指導を賜り、充実した例会となりました。



今回は三條貞夫先生に講師を務めていただき、「稽古で培った力を如何にして試合や審査などの本番で発揮できるようにするか」をテーマに研修を行いました。

《 講義 》

【試合や審査で実力を発揮するためには普段の稽古の中で試合や審査と同じような心持ちで基本に沿った打突を行うこと。】

三條先生がこれまでの修行の中で書き留めてこられた文章や印象に残り参考となさっているご指導の内容をまとめてご講義くださいました。

《 実技 》

【相手との攻め合いの中で相手の反応を感じて、あるいは反応を引き出して技を出す基本稽古】

① 切り返し 初めの面は打ち手が打ち間に入り（攻め）元立ちが隙を作ったところ（機会）を瞬時に打つ→元立ちが一步引く（機会）→打ち手が元立ちの左面を打つ→さらに元立ちが引く所を打つ・・・→元立ちが出るところを打つ。（打ち手は元立ちの反応を感じながら打つ）

② 面打ち

・打ち手が一步割って入り中心を取る→元立ちが面をあける→打ち手が瞬時に体全体、肩を使って大きな面を打つ。同様に小さい面を打つ。

- ・打ち手が遠間から少しづつ入る。攻め合いから一步入って溜める→元立ちが剣先を中心から少し外す→打ち手は相手の反応を見て隙が出たら小さい面を瞬時に打つ。
- ・同様に打ち手が一步入って溜める→元立ちが打っていく→打ち手が出頭面を打つ（右足を少し浮かせておくと速い）

③ 返し胴

- ・合気になって打ち手が気あたりをする→元立ちに面を打たせる（相手の動作を引き起こす）→返し胴を打つ。

④ すり上げ面

- ・③と同様に打ち手が元立ちに面を打たせる→すり上げ面を打つ

その後遠藤範士、曾根先生、佐藤先生、三條先生の4名の八段の先生に元に立っていただいての指導稽古とお互いの自由稽古は約1時間、殊の外熱の入ったものとなりました。

ご指導くださいました遠藤会長はじめ曾根先生、佐藤先生、三條先生、並びに立派な会場をご高配賜りました三條先生、ご参加くださいました会員の皆様に感謝申し上げます。

（1）参加者（敬称略・順不同）

遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、塩野邦夫、阿部東悦、阿部東司、三浦 均
遠藤近志、佐藤弘明、小淵俊江、渡邊一仁、小林房雄、平子雅道、三條祐介、菅原和夫
種村信行、三浦隆昭、渡邊初男、江俣和代、佐藤和子(見学)

2 宮城県仙台市例会の報告

散り初めの桜の花びらが舞う4月24日（日）、仙台市立仙台工業高等学校のアリーナにおいて今年度2回目の東北地区クラブ例会を開催いたしました。



例会開始の前に4月18日に御逝去されました東北地区クラブ会員の西田裕先生（教士八段・岩手）のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。

仙台工業高校の高橋広幸先生には会場をご高配賜り、加えて駐車場での案内から会場の後始末まで大変お世話になりました。紙面ではございますが心より厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の感染終息が見えない中、少ない参加者ではありましたが4名の八段の先生方にご指導いただくという大変贅沢な研修となりました。



稽古前には遠藤会長から素振りについて詳しいご講義と切り返しの実技指導いただきました。

《素振りの指導》

《切り返しの指導》

《互角稽古の指導》

引き続き4人の八段の先生方に元に立っていただいたの指導稽古、最後は八段の先生同士の模範稽古を拝見して終了となりました。

《講 評》

『規矩作法（きくさほう）守り尽くして破るとも離るとても本（もと）を忘るな』千利休「利休道歌（どうか）」の一首を引用して基本の重要性を説いて下さいました。

「高段者になる程基本を大切にしたい。段が上がるごとに一から学ぶつもりで見直し、より深くなっていくものである。基本こそ情力で行わず気を入れて稽古してほしい」との講評をいただきました。

（1）参加者（敬称略・順不同）

遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、西口 晃、中村 等、小林房雄、小淵俊江、菅原和夫、渡邊一仁、高橋広幸、江俣和代

3 全国通常総会の報告

風も薫る5月3日（祝）ホテルオークラ京都において国際社会人剣道クラブ理事会並びに通常総会が開催されました。概要は下記のとおりで、議案は理事会および総会において満場一致で承認されました。詳細は後日本部より送付される報告書をご覧ください。東北地区

クラブからは曾根副会長、石田慶節副会長、三條幹事長、古濱久美子先生、小淵俊江先生、渡邊一仁先生、江俣和代の7名が出席しました。

○第1号議案事業報告についてはコロナ禍においても各地区クラブが感染拡大予防対策を徹底工夫しながら事業を実施したこと、国際交流事業は中止されたことが報告された。

○第3号議案事業計画では今年度の全国例会が11月5(土)～6日(日)に京都市武道センターを会場に準備が進められている状況報告があった。国際交流事業に関しては今年度も中止となる見通しであるが新型コロナ感染症の感染状況に応じて判断していくことになった。

○第5号議案では各地区クラブの事情により役員の交代があったことに伴い理事会の役員交代があった。

《退任》 副理事長 井上一久先生（東海） 副会長 湯村正仁先生（中国）

常任理事 佐藤博喜先生（九州）

《新任》 常任理事 小川 徹先生（関東） 副会長 三好伸二先生（中国）

常任理事 山田雅士先生（九州）

＊役員の定年を原則80歳とする内規が定められた。

○第7号議案。コンプライアンスの徹底、不祥事防止の観点から倫理規定、懲罰規定が制定され2022年5月3日から施行されることになった。

4 宮城県仙台市例会のご案内

今年度3回目となる地区例会を下記のとおり開催いたします。時折夏を感じさせるほどの暑さが続く日がありますが湿度も低く稽古には最適な状態と感じております。当初福島郡山市で開催を計画し段取りを進めていたのですが、急遽開催されることになった東北学生選手権大会の関係から日程の変更を余儀なくされ、コロナ禍の影響もあって会場確保が難しく、前回に引き続き仙台工業高校の体育館を会場に開催することになりました。

6月12日（日）の日程を確保して頂いた先生方には申し訳ございませんが、日程変更をよろしく願いいたします。8月に実施される中央審査に役立つものにしたいと考えておりますので、出来るだけ多くの会員の皆様の参加をお願いいたします。

（1）日 時 令和4年7月3日（日）

13：30～13：45 準備運動・遠藤会長挨拶

13：45～14：30 審査研修（立会い・個別講評）

14：30～15：00 会員同士の回り稽古・指導陣からのアドバイス

15：00～15：50 八段元立ちによる指導稽古

15：50～16：00 講評、体育館清掃後に解散

（2）会 場 ~~仙台市立仙台工業高校体育館~~ 福島郡山磐梯熱海スポーツパーク ~~仙台市宮城野区東宮城野3-1~~ 郡山市熱海町高玉字南泥布沢2-7

5 退会者について

退会：桂島加奈子先生（岩手）、渡邊智明先生（岩手）、熊谷敏明先生（宮城）
佐藤幸一郎先生（宮城）、佐藤和子先生（宮城）、八巻恵美子先生（福島）

計 報

岩手県の西田 裕先生（教士八段）が4月18日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

当クラブ副会長(本部理事長)曾根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」、この著書は曾根先生が剣道始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた道のり（剣道修業）をまとめ上げたものです。技術本ではありませんが、自分が学んできたことを咀嚼しながら記載しているので大変分かり易くいんな技の習得にも役立つものになっております。

また、剣道の大先生の話は直接ご本人から聞いた話や実際に体験した内容で臨場感溢れるものになっております。乳井義博先生の乳井道場での話しや国際社会人剣道クラブ立上げの話し、佐藤忠三先生・堀籠敬蔵先生の武専時代の話などめったに聞けない話など掲載されております。

これからの自分の剣道を磨くためにも、剣道愛好家や少年指導をするためにも役立つものになること間違いありません。B5版115ページのカラー刷りとなっております。事務局までお申し込み下さい。一冊1,000円となります。各地区の指導者の皆様にも是非お勧めください。数がまとまれば発送いたします。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行 出村大光氏

関東地区クラブ 幹事長 小川 徹氏

東海地区クラブ 幹事長 足立 誠氏

近畿地区クラブ 幹事長 久保達也氏

中国四国クラブ 幹事長 金尾静一氏

九州地区クラブ 幹事長 山田雅士氏

編 集 後 記

緑が艶やかさを増し、美しく力のみなぎってくる季節になりました。清々しい空気の中で稽古にも一段と身が入ってくる頃と思います。

熱心にご指導いただいた貴重な研修内容、そしてコロナ禍の中でも工夫を凝らして実施している東北地区クラブの活動を少しでも会員の皆様にお伝えできるように、編集員一同今年も微力を尽くしてまいりたいと思います。

会員の皆様にはこれからもお支えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（江俣和代）